

労働と看護の質向上のためのデータベース(Database for i mprovement of Nursing Quality and Labor)事業

データに基づく看護の質向上・ 看護政策の実現に向けて

～2023年度よりDiNQL事業を大幅にリニューアル～

公益社団法人 日本看護協会



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会



日本看護協会について

日本看護協会とは

- 全国の看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)が自らの意思で加入する専門職能団体
- 会員会費で運営される公益社団法人
- 全国の看護職約168万人のうち76万人加入(2023年3月末現在)

日本看護協会の使命

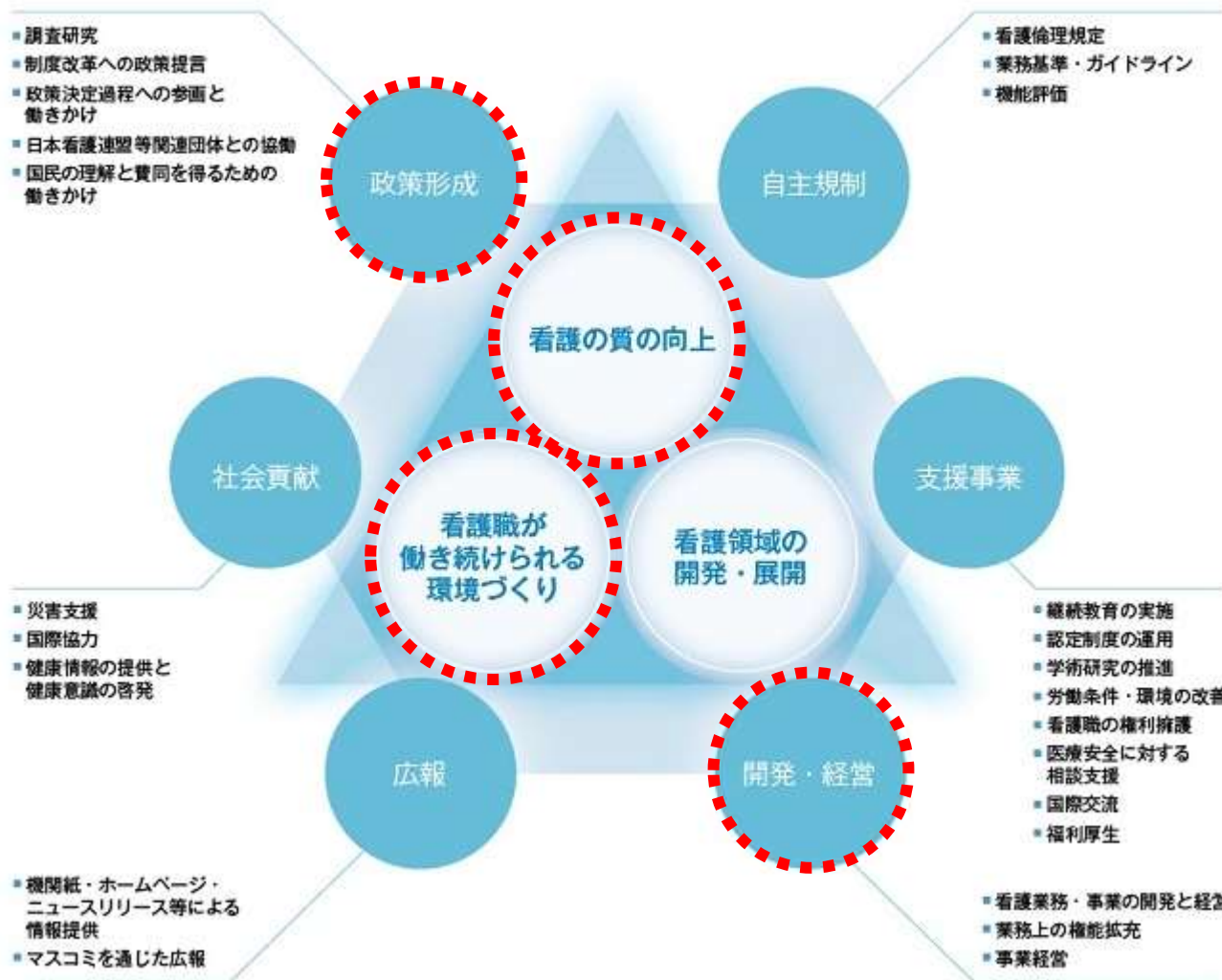
人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

- 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき
看護の質の向上を図る
- 看護職が生涯を通して安心して
働き続けられる環境づくりを推進する
- 人々のニーズに応える
看護領域の開発・展開を図る

(定款 第3条)

日本看護協会 | 3つの使命と6つの実現手法と DiNQL事業の位置づけ

基本戦略 — 3つの使命と6つの実現手法 —





ディンクル
DiNQL(労働と看護の質向上のための
データベース) 事業について

DiNQL事業のこれまでの取組み

- 日本看護協会では、2015年度より、看護職が健康で安心して働き続けられる環境整備と看護の質向上を目指し、臨床現場でのデータを活用した看護の質改善活動を支援するためにDiNQL事業に取り組んでいます。
- 2022年度までに延べ900病院が参加しています。
- データを活用した看護の質改善活動を支援する方法として、**ベンチマーク評価ができるITシステムを提供**しています。現場のニーズに応じて、データ項目の追加やベンチマーク機能の強化を行っています。
 - インターネット経由で全国の病院から労働と看護の質に関するデータ(人員配置や労働時間、看護実践の内容、患者アウトカム等)を収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較したベンチマーク評価を行います。
 - ITシステムにデータを入力すると、リアルタイムでグラフ等でベンチマーク結果が表示されます。他施設との違いや自施設の強みと弱みを把握し、経年的な変化をデータで確認しながら、病棟マネジメントの改善、看護実践の強化に結びつけることが期待されます。
- 本事業に蓄積されたデータは政策提言のためのエビデンスとしても活用しています。

データ収集・入力負担の軽減の必要性

- 事業参加病院数は漸減傾向にあります。(2022年度362病院)
- アンケートの結果、多くの病院に参加いただくには、データ収集・入力負担の軽減、そしてデータの利活用ができる体制整備が必要であることがわかりました。

2021年度に参加を中止した病院の中止理由

※66病院中53病院が回答

辞退理由(複数回答)	回答数	割合
データ収集・入力の負荷が高かった	30	56.6%
新型コロナウイルス感染症への対応により継続が難しい	18	34.0%
ベンチマーク評価の比較対象数が少なかった	17	32.1%
データ項目の定義が複雑だった	16	30.2%
今後は自院のみで取り組む	11	20.8%
データを活用した質改善の方法が分からなかった	10	18.9%
ベンチマーク評価から課題が読み取れなかった	8	15.1%
病床再編・病院統合・電子カルテの更新等により継続が難しい	8	15.1%
活用したいデータ項目が無かった	7	13.2%
課題は抽出できたが改善まで至らなかった	4	7.5%
担当者の退職・異動により継続が難しい	3	5.7%
参加費の負担が大きい	3	5.7%
他団体のQI事業に一本化するため	2	3.8%
管理者の退職・交代による方針の変更	0	0.0%

(例)

- ・電子カルテと連動していないため、担当者の手作業による収集及び集計
- ・自院で採用している他のQIと重複する(DiNQLのために再集計が必要)
- ・他部署からデータを提供してもらうのに苦勞する 等

(例)

- ・入力で手いっぱい利活用ができない
- ・時間がなくデータを読み解けない

負担が大きいにも関わらず、利活用ができていない状況

DiNQLは大きくリニューアルします

- データ収集・入力負担の軽減
- データの利活用ができる体制整備



多くの病院
が参加



ベンチマー
クの精度向
上



さらなる看
護の質向上



より強力な
エビデンス
創出



説得力のある
政策提言

臨床現場の
労働と看護の質向上

日本の「看護を代表する大規模データベース」
を目指し、大きくリニューアル

リニューアル内容

1. 入力負担の軽減

- 入力項目の整理、見直し

2. 入力データを活用した改善活動の支援

- 入力したデータの活用ができないといった課題を改善するために、現状の概要把握のため、新たに「病院・病棟分析レポート」を定期的に提供

3. 参加費が無料に

- 日本を代表する看護の大規模データベースの構築に向けて、参加病院の全国規模への拡大を目指す

4. 「トライアル機能」(お試し参加)の導入

- 参加前に一定期間、操作方法やベンチマーク機能等の体験ができる

5. データの第三者提供の開始

- 参加病院が研究者等へデータを提供でき、支援に活用

6. 商標等使用許諾契約の支払いの引き下げ

- DiNQLデータ抽出機能を搭載したシステムの開発・販売のための
支払いを年間10万円へ引き下げ





DiNQL ITシステムについて

DiNQLで扱うデータ項目(2023年度)

○DiNQLでは労働と看護に関するデータを「病棟単位」・「月単位」でベンチマーク評価します。

○データ項目は、12のカテゴリで全172項目(必須入力10項目)です。

カテゴリ	項目数	カテゴリ	項目数
病院・病棟の基礎情報	32項目	患者像・看護職の労働状況	28項目
診療報酬の算定状況	36項目	褥瘡ケアの取組み	10項目
感染対策の取組み	8項目	転倒・転落防止の取組み	6項目
医療安全の取組み	8項目	身体的拘束の状況	2項目
入退院支援・外来の状況	14項目	精神病床の状況	11項目
産科病棟の状況	11項目	小児病棟の状況	6項目

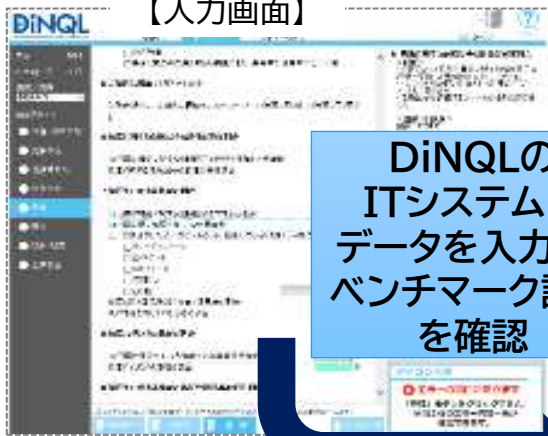
- 172項目にはそれぞれ細項目(計 約1,550項目)が紐づけられています。
- 各項目・細項目は「データ入力の手引き」の定義に則った入力が必要です。
- 一部の項目・細項目(約300項目)は自動計算されます(入力不要)。
- 入力が必要な約1,250項目のうち約7割は、初回入力以降、自動的にコピーされます。
- 診療報酬改定他の指標見直しに伴い、少なくとも2年毎に見直しを行います。

○参加病院・病棟の課題に応じ、入力する項目を任意に選択可能です。

DiNQLで出来ること

インターネット経由で全国の病院からデータを収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較した**ベンチマーク評価**を行う。
⇒データに基づいた継続的な質改善活動に結びつけることができる。

【入力画面】

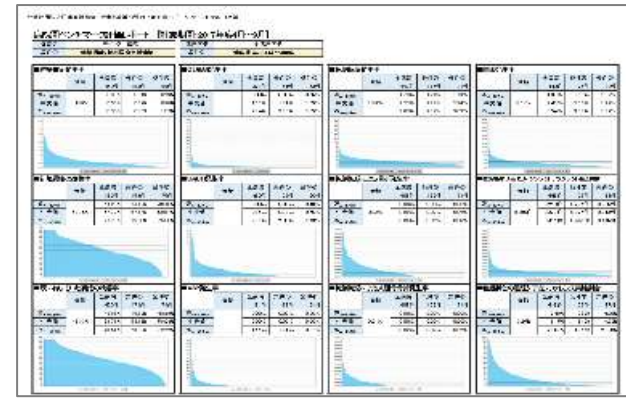


DiNQLのITシステムにデータを入力し、ベンチマーク評価を確認

【病院・病棟分析レポート】



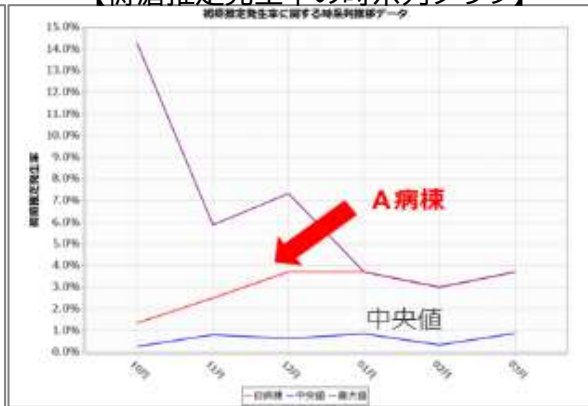
【病院間ベンチマーク評価レポート】



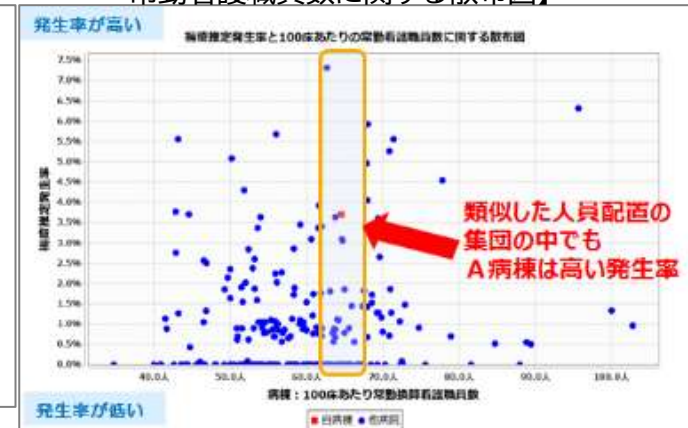
【すべてのアウトカムに関するレーダーチャート】



【褥瘡推定発生率の時系列グラフ】



【褥瘡推定発生率と100床あたりの常勤看護職員数に関する散布図】



データ入力について①



2023 年度

ディンクウル

DINQL

Database for improvement of Nursing Quality and Labor
労働と看護の質向上のためのデータベース事業

データ入力の手引き

【2022年度からの変更点について】

- ・2022年度から、各データ項目の入力項目、書式や定義の変更は基本前にはありませんが、カテゴリを大幅に見直したため、これまでとは異なるカテゴリに属することになった項目が多数あります。
- ・また、これまで入力の対象期間が「対象月の1ヶ月間（自動コピー）」だった項目は、すべて原則として「年1回」の入力で良いこととします。（前に大きな変動があった場合などに、入力を変更入力することは可能）
- ・目次にて黄色でマークされたデータ項目は、2022年度からの変更がある項目です。詳しい内容は、各データ項目の説明ページをご確認ください。なお、各データ項目の説明ページでは、データ項目名の下に【2022年度からの変更点】として概要を記載しています。また、説明ページ内で、**変更点が全て下線が引かれた箇所が変更点です（例外箇所は赤字・取り消し線）**。
- ・ITシステムは6月末に更新予定です。追加・変更された項目については、お手数ですがシステムが更新された後でご入力いただけますようお願いいたします。



日本看護協会

事業参加病院・
商標等使用許諾契約を締結した企業様
には、DINQL事業で扱う
全データ項目の詳細を記載した
「データ入力の手引き」を提供しています。

データ入力について②

- 「データ入力の手引き」で何を入力するかという、データ項目の定義を説明しています。
- DiNQLのITシステムへ、そのデータ項目の定義に沿った値を入力してください。

「データ入力の手引き」の記載内容(例)

褥瘡ケアの取組み

1. 褥瘡ケアに関する総研修時間

入力項目	褥瘡ケアに関する研修の実施	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
	研修方法	<input type="checkbox"/> 対面式	<input type="checkbox"/> DVDやE-Learning
	昨年度の実施頻度		
	対面式による研修の年間実施回数	()	回/年
	一回あたりの平均時間数	()	分/回
	DVDやE-Learningによる研修時間	()	分
	臨床経験年数やラダーレベル等に合わせた研修の実施有無	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
算定式	褥瘡ケアに関する年間の総研修時間を、入力された値をもとに自動計算し		
	褥瘡ケアに関する年間の総研修時間=A×B+C		
	A：対面式による研修の年間実施回数		
	B：一回あたりの平均時間数（分）		
	C：DVDやE-Learningによる研修時間（分）		

チェックボックス

データ入力画面の表示(例)

1. 褥瘡ケアに関する総研修時間

褥瘡ケアに関する研修の実施

- 対面式
DVDやE-Learning

ラジオボタン

あり なし

昨年度の実施頻度

対面式による研修の年間実施回数

一回あたりの平均時間数

DVDやE-Learningによる研修時間

褥瘡ケアに関する年間の総研修時間

臨床経験年数やラダーレベル等に合わせた

数値入力

回/年

分/回

分

分

自動計算

あり なし

2種類のデータ入力方法

DiNQLのデータ入力方法には2種類あります。

参加病院はどちらかを選択することも、両者を併用することもできます。

1. ITシステムのデータ入力画面を利用する方法(Web UIへ直接入力)
⇒ 1病棟ずつ直接入力。自動計算結果やエラー内容もすぐに確認できる。
2. エクセルテンプレートからデータをアップロードする方法(Excel/CSVファイル)
⇒ 全病棟分の全データを一括で入力可能。

→「エクセル一括処理機能」

データ入力画面



エクセルテンプレート



- 病棟のパソコンがインターネットにつながってなくても利用可能。
(院内に1台、インターネットに接続できるパソコンがあれば利用できます)

エクセル一括処理機能について①

エクセルを使ってITシステムへデータ入力する機能です

DiNQLのITシステム

アップロード

エクセル一括処理

↓ EXCELダウンロード

※ 単月を選択してダウンロードしてください

↑ EXCELアップロード

■ 確定済のデータを上書きするにはチェックを入れてからアップロードしてください

CSVダウンロード

CSVアップロード

エクセル一括処理機能について②

データ入力時には、以下の2通りの登録方法があります。

①すべての指標をシステムに登録

◆利用シーン: 看護部等でデータを一括登録する場合 等

②入力した指標のみをシステムに登録

◆利用シーン: 各担当者が自分の担当するデータのみを登録する場合 等

例) 皮膚・排泄ケア認定看護師が、全病棟の褥瘡データを登録する際
※自身がエクセルテンプレートに入力したデータだけが登録されるので、
他の担当者が入力したデータを上書きしてしまうことはありません。

A	C	D	E	F	G	H	I	L	M	N	O	
1	DiNQLエクセルテンプレート											
2	ver. 9.0											
3	ディンクル病院											
4	登録方法	すべての指標を登録する									入力データの桁数チェック	CSV取込
5	年	すべての指標を登録する										
6	月	入力した指標のみ登録する										
7												
8												
11	カテゴリ	データ項目									<input checked="" type="checkbox"/> 病棟2	<input checked="" type="checkbox"/> 病棟
12	基	1	設置主体	設置主体	分類							

○Excel形式の場合

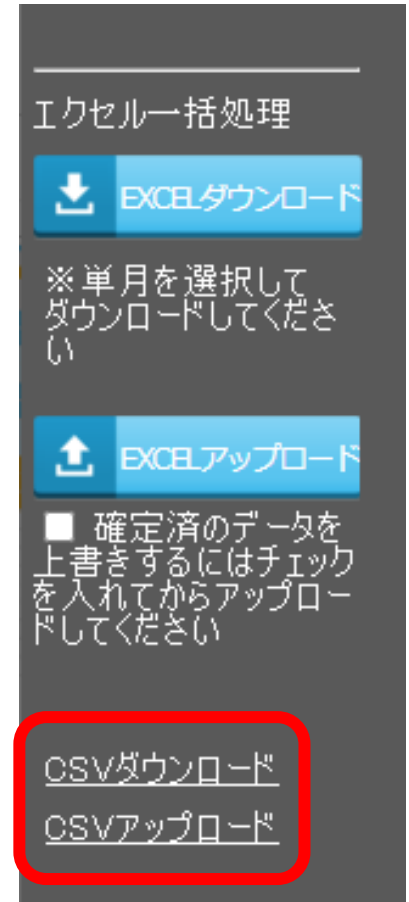
1. 出力する病棟を選択して、値を編集し
2. 入力データの桁数チェックボタンを
3. エラー（赤いセル）がない状態になる
4. DiNQLのデータ入力TOP画面からこの

Excelテンプレートで
上記の①②どちらの方法で登録するか
選べます。

エクセル一括処理機能について③

- DiNQLデータの入力方法は基本的にはWeb UIとエクセルテンプレートの2通りですが、**CSVアップロードによる入力も可能です。**
 - 各細項目には固有の内部IDが割り振られており、電子カルテ・部門システム等から抽出したデータ項目を固有の内部IDと紐づけて出力(CSV形式)すれば、DiNQL ITシステムへ直接CSVアップロードが可能です(エラーチェックは基本的にITシステム側で行われます)
 - データ項目の並べ替え等があっても、細項目の内部IDは不変です。

※ 商標等使用許諾契約を締結した企業様にはシステム間の連携仕様書等の必要な資料を提供させていただきます





商標等使用許諾契約の概要

商標等使用許諾契約の概要

- DiNQLの商標を使用し、DiNQLデータ抽出機能を搭載した病院情報システム(以下、商品)を販売できます。
- 評価指標、評価指標の設定値、商品との連携に必要な情報について、日本看護協会より提供します。
(日本看護協会は商品の品質について指示を出す場合があります。)
- ライセンス料は10万円/年(税別)です(契約初年度も次年度以降も同額)。
- その他、権利譲渡の禁止、秘密保持、反社会的勢力の排除等の一般的な条項があります。
- 契約期間は基本的に1年間(毎年度3月31日まで)ですが、期間満了日の3か月前までに書面での契約終了の意思表示がない限り、同一条件で契約が更新されます。



今後の予定

今後の予定

2022年度

2023年度

新たなDiNQLの
システム開始

2月まで

3月

4月

5月

6月

7月

8月以降

募集期間(3月～6月)

システムの利用開始(7月以降)

全国の病院
(約8,200)へ
リニューアルの
リーフレットを
郵送済み
(2月)

2022年度
事業不参加
病院向けに
計3回の
説明会を開催
→約370病院
が参加
(1～3月)

①トライアル機能を
利用しない
本番システムへの参加の
申込み

申込完了後、順
次病院個別の
ID・パスワード
を本会から発送

②トライアル機能を
利用する
まずはトライアル機能を体験
し、本参加を検討

トライアル用の
ID・パスワード
を本会から
メールで送信

リニューアルに伴うシステム停止

新ITシステムの
利用開始

トライア
ル用
ITシステ
ムを体験

本番
システム
への
申込み

申込み後、
本番シス
テム用の
ID・パス
ワードを
発送

2023年度事業参加に向けた
病院向け説明会(計3回)を計画

おわりに

労働環境の整備と看護の質向上にむけて、
ぜひDiNQLデータ抽出機能の開発・販売
(商標等使用許諾契約の締結)のご検討を
お願いいたします。

【問い合わせ先】

日本看護協会医療政策部看護情報課

TEL :03-5778-8495

メール:database@nurse.or.jp

